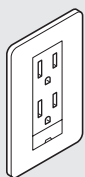


11. 試運転・確認

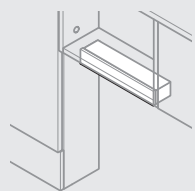
1 電気コンセントの確認



▶P.65

足元照明ありの場合

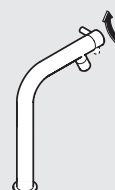
2 足元照明の動作確認



▶P.66

手洗器ありの場合

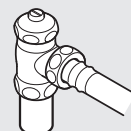
3 吐水の確認



▶P.66

手洗器ありの場合

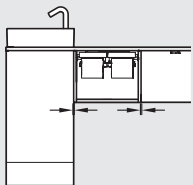
4 水漏れの確認



▶P.67

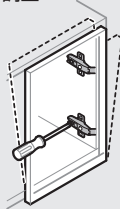
ハーフキャビネットの場合

5 キャビネットすき間の確認



▶P.67

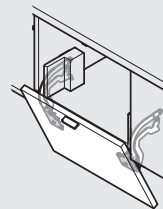
6 手洗器キャビネット扉の調整



▶P.67

ハーフキャビネットの場合

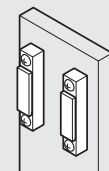
7 スライド扉の調整



▶P.68

ハーフキャビネットの場合

8 間口調整フィラー(固定)の調整



▶P.70

1 電気コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

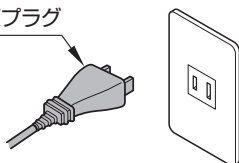
設置位置	設置機器			コンセント	プラグの差し込み位置	
	自動水栓	電気温水器	足元照明		下側	上側
手洗器キャビネット	○	○	—	 接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント	 電気温水器	 自動水栓
	○	—	—	 壁埋込式1口コンセント	 自動水栓	
間口調整フィラー(固定)	—	—	○	 壁埋込式1口コンセント	 足元照明	

足元照明ありの場合

2 足元照明の動作確認

① 電源プラグを差し込む

足元照明用電源プラグ



② 点灯確認

大便器に近づいて行くことで、足元照明が点灯することを確認してください。
(確認は、トイレの外に出てトイレのドアを閉め、100秒以上経過した後に実施)

【点灯しないとき】

部材の接続を再度確認してください。

- ・センサーの取り付け ▶P.30
- ・中継ハーネスの取り付け ▶P.31
- ・LED照明ユニットの取り付け ▶P.36

手洗器ありの場合

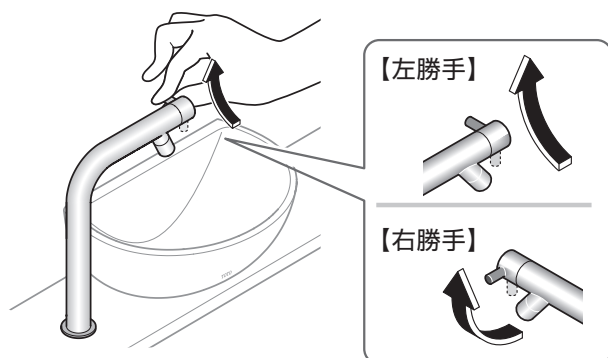
3 吐水の確認

参照 自動水栓・電気温水器の確認は、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

ハンドル式水栓の場合

① 止水栓が閉まっていることを確認する

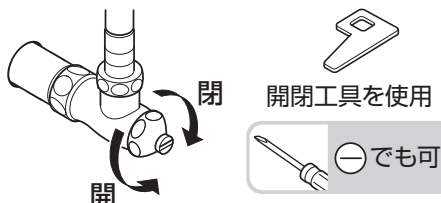
② ハンドルを全開にする



※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

③ 適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける

水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して、流量を調整してください。



⚠ 注意

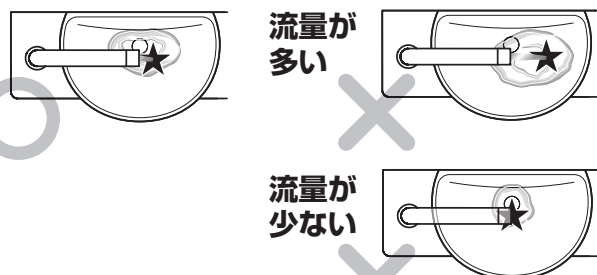


流量は必ず調整する

- ・流量が多いと使用時水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・流量が少ないと複数個所の同時吐水時に流量不足となる場合があります。

★ 水が当たる位置

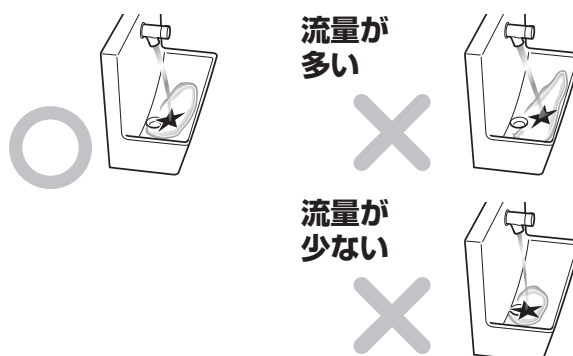
【ベッセルタイプ(丸形)の場合】



【ベッセルタイプ(角形)の場合】



【ハイバックタイプの場合】

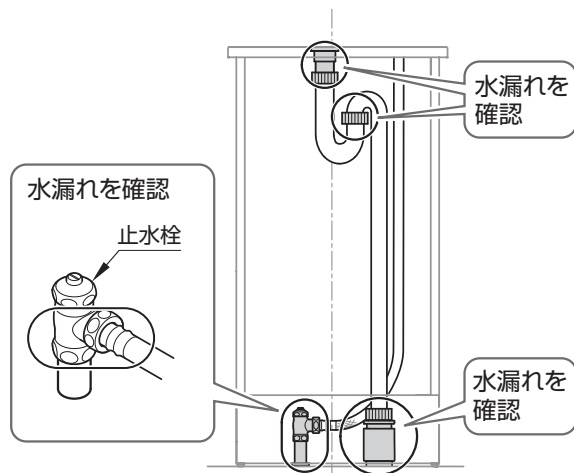


手洗器ありの場合

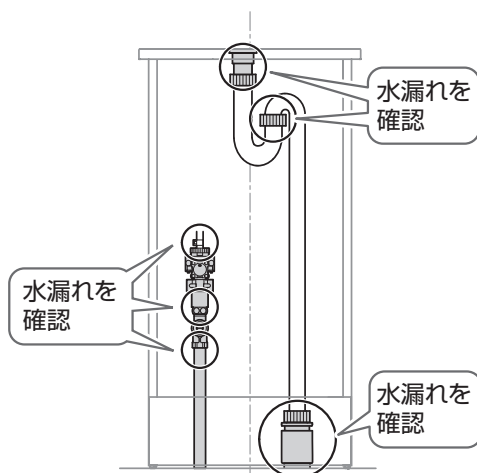
4 水漏れの確認

※図は床給水、床排水の場合

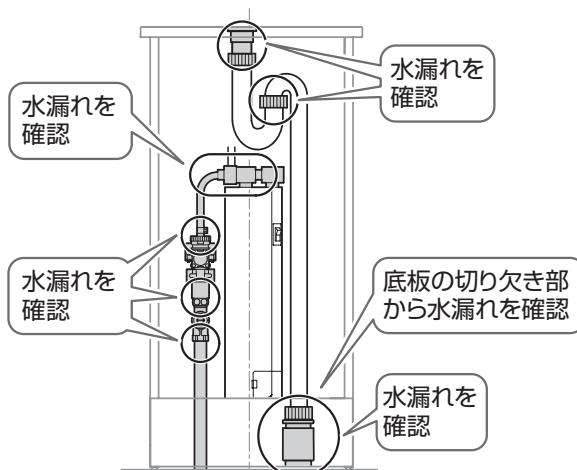
ハンドル式水栓の場合



自動水栓の場合



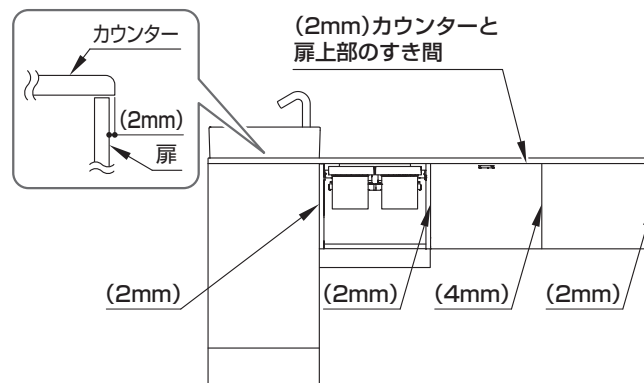
自動水栓(電気温水器付)の場合



5 キャビネットすき間の確認

すき間の調整は、

- ▶P.67「**6** 手洗器キャビネット扉の調整」、
 - ▶P.68「**7** スライド扉の調整」、
 - ▶P.70「**8** 間口調整フィラー(固定)の調整」
- を参照



注 意

※図はハーフキャビネットの場合

【間口調整フィラー(固定)がある場合】

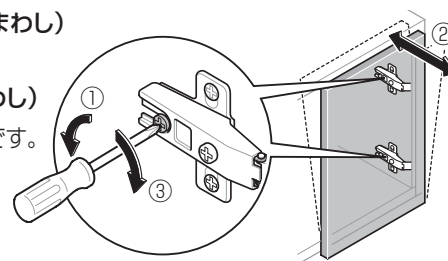
間口調整フィラーを基準にして各扉を調整する。

6 手洗器キャビネット扉の調整

前後を調整 (右開き)

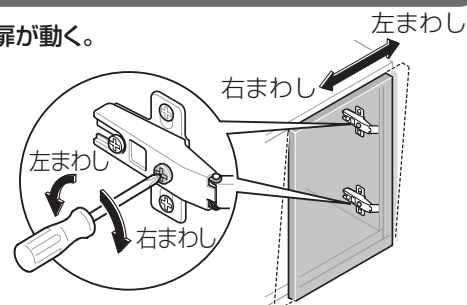
- ①ゆるめる (左まわし)
- ②扉を動かす
- ③しめる (右まわし)

※左開きも同様です。



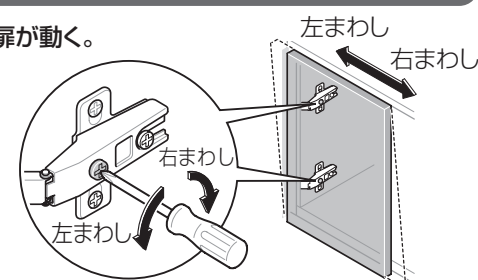
左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



緩衝材の張り付け

扉を開けた時、壁などと当たる場合は
張り付ける



「施工説明書」に同梱
緩衝材

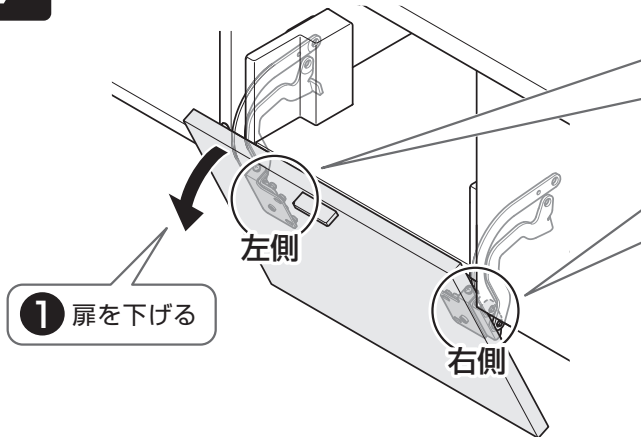
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

ポイント

張付面は水拭きし、乾燥後張り付ける

ハーフキャビネットの場合

7 スライド扉の調整

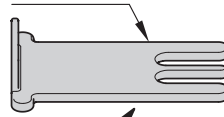


② スペーサーを取り外す

【扉裏面を上から覗き込んだ場合】

※図は右側の場合

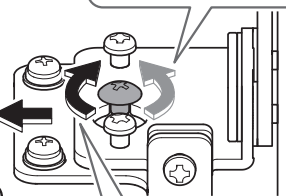
スペーサー



② スペーサーを外す

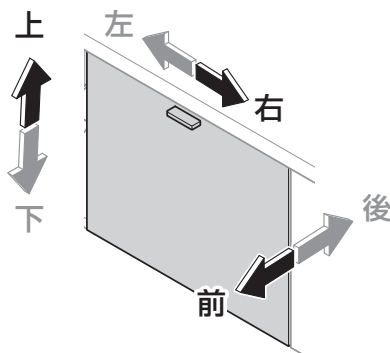
外したスペーサーは
使用しない

① ねじをゆるめる

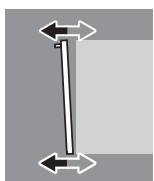


③ ねじを締め付ける

③ 扉の調整を行う (前後・左右・上下)

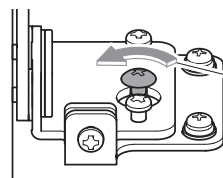


前後に動かす場合

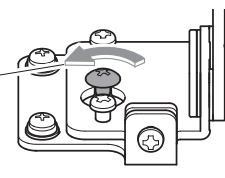


左側

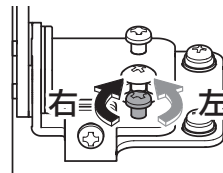
右側



① 少しゆるめる



【上側を動かす場合】

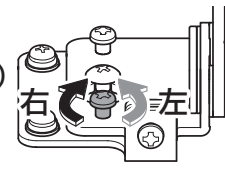


② ねじを調整する

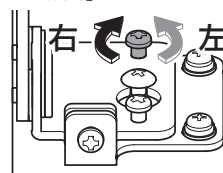
(右回し：扉が前に動きます)

(左回し：扉が後ろに動きます)

③ ①のねじを締め付ける



【下側を動かす場合】

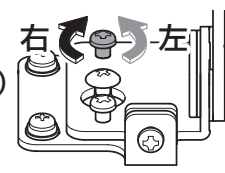


② ねじを調整する

(右回し：扉が前に動きます)

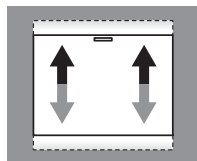
(左回し：扉が後ろに動きます)

③ ①のねじを締め付ける



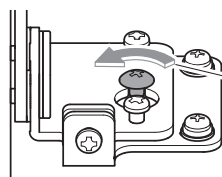
※スライド扉全体を前後に動かす場合は、上側・下側を同時に動かします。

上下に動かす場合

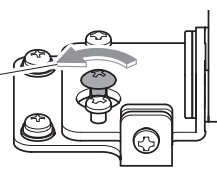


左側

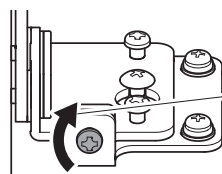
右側



① 少しゆるめる

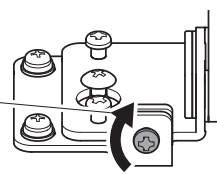


【上に動かす場合】

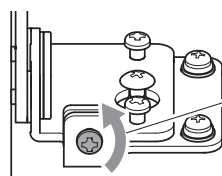


② 右回し

③ ① のねじを締め付ける

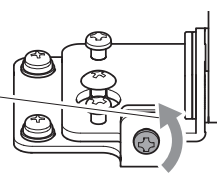


【下に動かす場合】

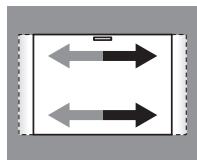


② 左回し

③ ① のねじを締め付ける

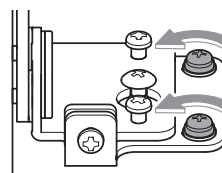


左右に動かす場合

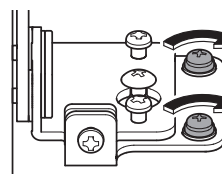
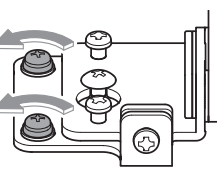


左側

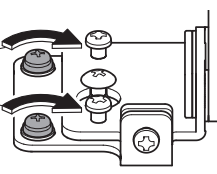
右側

① 少しゆるめる
(左右ねじ4本とも)

② 扉を左右に動かす

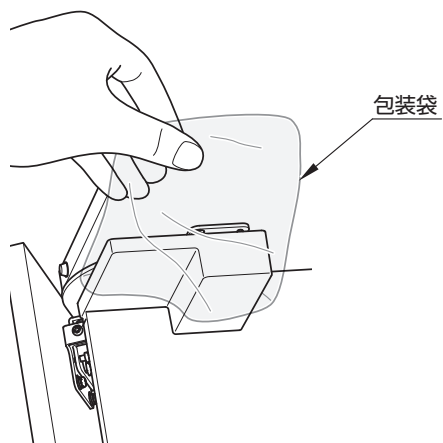


③ 締め付ける



④ カバー(アーム)の包装袋を取り外す

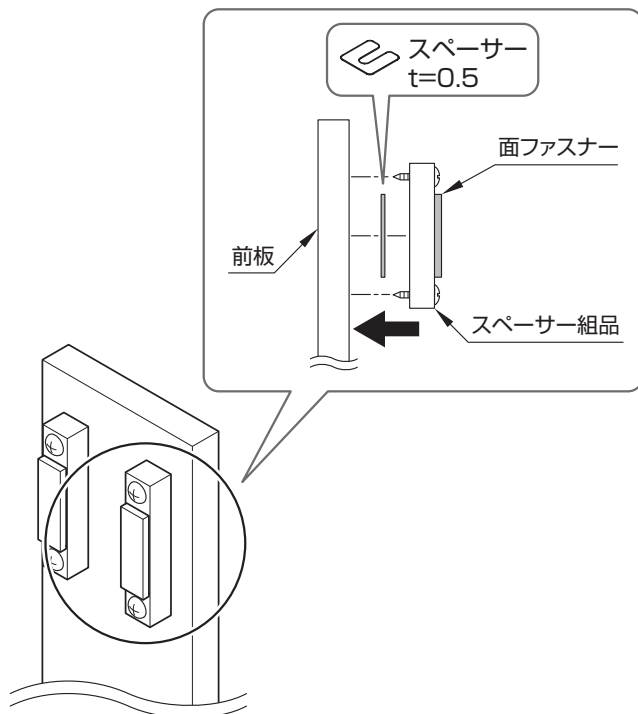
扉調整後、カバー(アーム)の包装袋を取り外す。
※扉調整前は包装袋を外さないこと



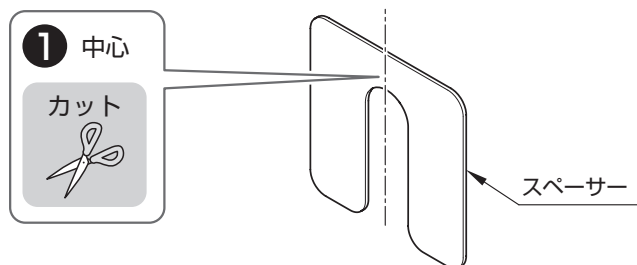
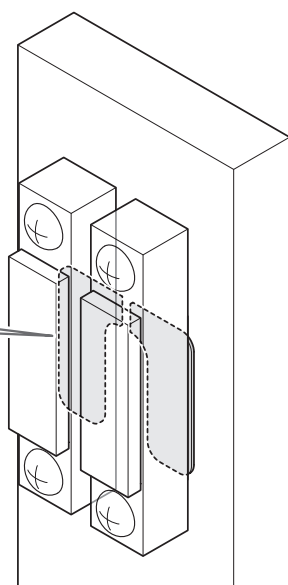
ハーフキャビネットの場合

8 間口調整フィラー(固定)の調整

前板とスペーサー組品の間にスペーサーを挟み、
前板の前後調整をする



前板の幅が狭い場合

**2** 挟む

MEMO

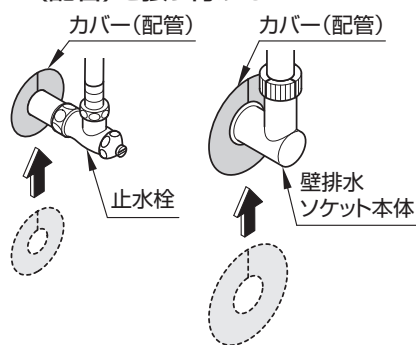
12.カバー(配管)

手洗器なしの場合はP.72へ

1 カバー(配管)の張り付け

壁給水・壁排水の場合

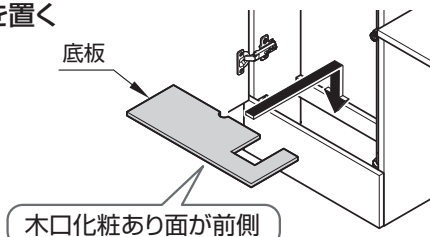
① 背板と給水・排水接続部にカバー(配管)を張り付ける



床給水・床排水の場合

① 底板を置く

※図はMサイズの場合

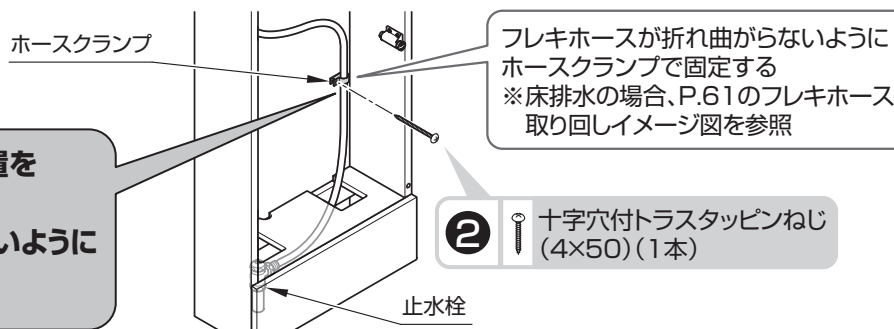


ハンドル式水栓	床・壁給水／床排水	壁給水／壁排水	—
自動水栓	壁給水／床排水	壁給水／壁排水	床給水／床排水
底板の形状	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ

ハンドル式水栓の場合

注意

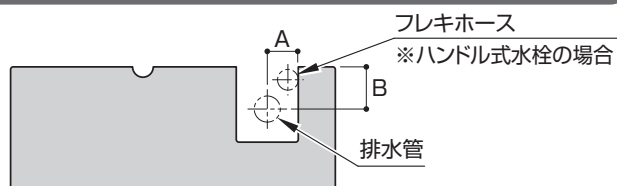
- ・ホースクランプ固定はねじ位置を設置壁側にする
- ・フレキホースと底板が干渉しないように固定する
底板が取り外しにくくなります。



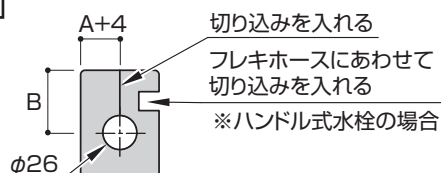
② 十字穴付トラスタッピンねじ (4×50) (1本)

③ 底板の形状がⒶⒸの場合、給排水管位置を測り、カバー(配管)をカットする

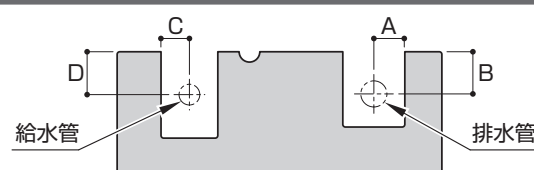
底板の形状Ⓐの場合



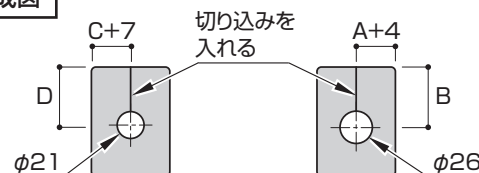
完成図



底板の形状Ⓒの場合



完成図



④ 底板にカバー(配管)の剥離紙をはがして張り付ける

※電気温水器付きの場合は、底板内に漏水がないことを確認してからカバー(配管)を張り付けてください

